

在宅の現場でつながる力

～歯科衛生士の役割と連携を考える～

秋山先生からのメッセージ

認知症についての基本を学び直し、これまで接してきた認知症高齢者さんへの口腔ケアの場面を紹介しながら、認知障害を持った方々が住み慣れた場所で、より快適に住み続けていただけるサポートのひとつとして私たち歯科衛生士は何かができるのかについて検討し、共有できる時間を持ちたいと思います。

岸先生からのメッセージ

皆さんは、ご家族や多職種にどのような声がけをし、どのような対話を行っているでしょうか。実際の訪問診療の現場では、関わり方や情報共有に迷う場面も少なくないのではないのでしょうか。

本講演では、実際の症例を交えながら、家族や多職種との連携についてお話しいたします。患者さんの生活背景を踏まえたコミュニケーションの工夫や、多職種間でスムーズに情報共有を行うためのポイントなど、訪問診療ならではの関わりについて、皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

